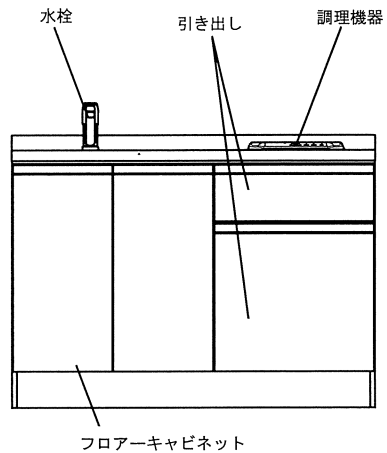
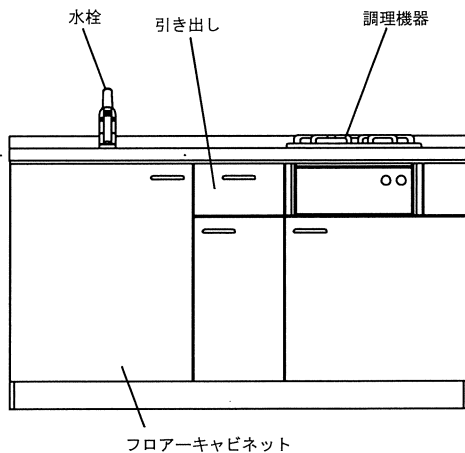
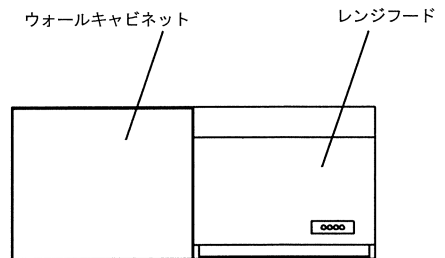
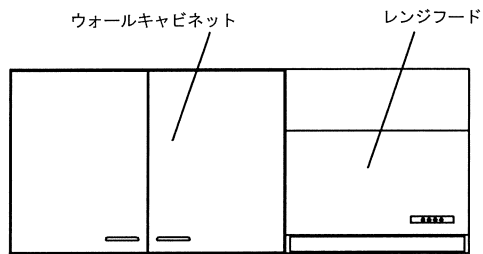


コンパクトキッチン・コンパクト50 設置工事説明書



コンパクトキッチン

コンパクト50

取扱説明書別添付

- 調理機器・レンジフード等の機器は、おのこの設置工事説明書の内容を守り、正しく設置してください。
- キッチン及び、組込機器等の取扱説明書等は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認のうえ、お客様にお渡しください。

安全に関するご注意

- ここに示した注意事項は、商品を正しく安全に設置・工事していただき、施工工事業者及び製品を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- 誤った工事により生じる危害、損害の程度により次の二つに区分しています。

⚠ 警告 作業を誤った場合に施工業者又は、設置後の製品の不具合によって、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 作業を誤った場合に施工業者又は、設置後の製品の不具合によって、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

施工終了後、点検表に従って試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

絵表示の意味について



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

- **!** 電気工事、ガス工事、水道工事は関連する法令、規則に従って、必ず『有資格者』が行ってください。

接続や、固定が不十分な場合は、発煙や火災、ガス漏れ、水漏れの原因になります。



- ウォールキャビネットの設置は、建築の壁の構造を確認のうえ、この説明書通りに確実に行ってください。

設置に不備があると、ウォールキャビネットが落下して、怪我をするおそれがあります。



- ステンレス製ワークトップ・シンクは、必ず手袋をして取り扱う。

手袋をしないで切断面に触れると、怪我をするおそれがあります。

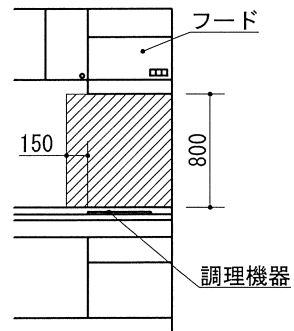
⚠ 注意



- フードの横には不燃ウォールキャビネットを設置してください。
不燃ウォールキャビネットであっても、斜線部にかかってはいけません。

火災のおそれがあります。








火災予防条例でも規制されています。



- キッチンに組込まれる調理器具、レンジフード、電気製品、その他機器については、おのおのの設置工事説明書や、製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

-  工事に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類については、それぞれの注意表示に従い、正しく使ってください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。
-  排水トラップ、排水ホースの取付けは、説明書に従い確実に行ってください。
取付けが不十分な場合、水が漏れ、床やキッチンが腐るおそれがあります。
-  ワークトップと、壁の合わせ部はシール材で必ずシールしてください。
シールが不完全な場合は、水がこぼれてキッチンや壁、床を傷めるおそれがあります。
-  工事終了後、扉の傾き・がたつきやヒンジのゆるみがないことを必ず確認してください。
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下して、怪我をするおそれがあります。
-  水栓の接続は、確実に行ってください。
接続が、不完全な場合は、水漏れによりキッチンや床を傷めるおそれがあります。
-  引き出しや棚板は確実に取付けてください。
取付けが不完全な場合、外れて怪我をするおそれがあります。
-  排水ホースは、排水管の底に当てたり、たるませて取付けないでください。
排水能力が低下し、シンクから水があふれて周囲を汚損するおそれがあります。

1 設置前の確認

1) 設置前の確認

- ・必要部材が揃っていますか？
- ・設置場所の直角・水平レベルを確認してください。

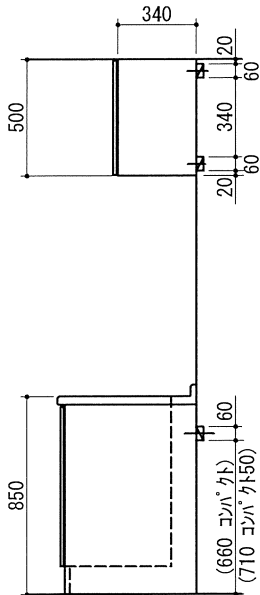
警告

● 壁面の固定棧が強固に固定されていることを確認してください。
固定棧は腐りのないものを使用してください。

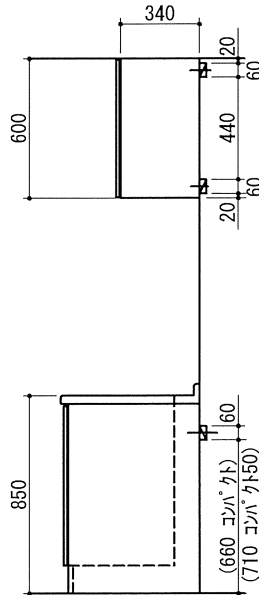
固定棧の取り付けが不完全な場合、ウォールキャビネットやレンジフードが落下して怪我をするおそれがあります。

2) 壁面固定棧の位置の確認

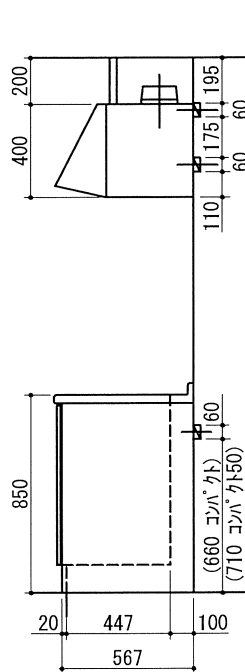
ウォール高さ500の場合



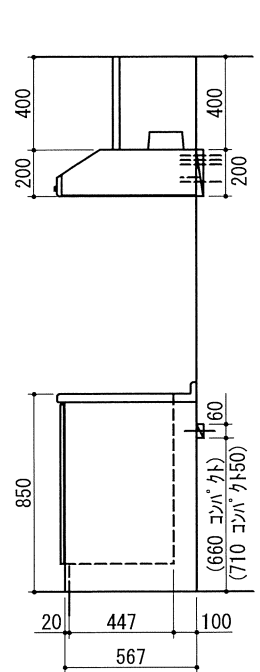
ウォール高さ600の場合



渡辺製深型フードの場合



渡辺製浅型フードの場合

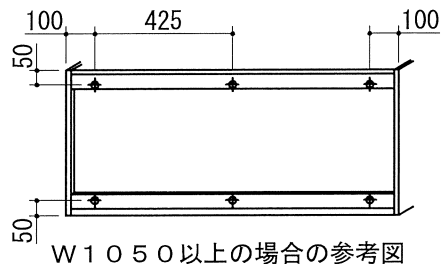
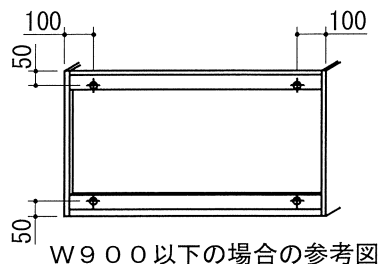


フード・ウォールキャビネットの取り付け高さは現場毎に調整してください。

2 ウォールキャビネットの設置

1) 設置前の準備

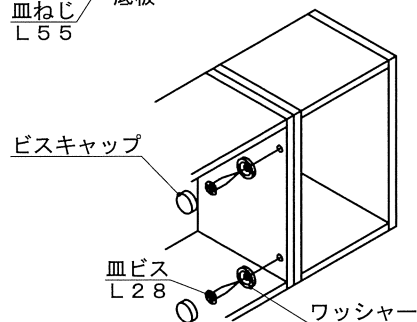
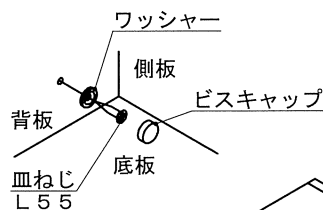
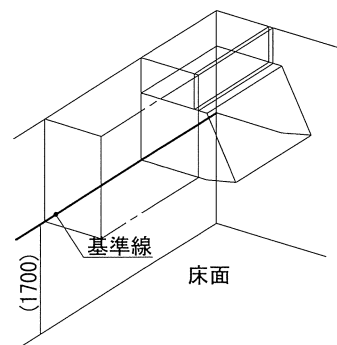
- ・ 後板に固定用穴(φ4)を開ける。
建築の下地材の位置を確認して、下地材のある位置に下穴の位置を決めてください。



2) レンジフード・ウォールキャビの取付

- ・ 壁面に基準線を水平に引く。
壁面に右下の図を参考に基準線を水平に引く。
基準線の位置は床面の一番高い面より出してください。
- ・ レンジフード側に横壁がある場合は、レンジフードの設置工事説明書に従い横壁と隙間がないように固定してください。
ウォールキャビ側に横壁がある場合、レンジフードはウォールキャビを取り付け後に隙間がないように取り付けてください。
- ・ ウォールキャビをレンジフードと隙間がないように皿ねじL55にワッシャーを通し取り付け、ビスキャップをはめる。

注意 不燃面がレンジフードに接するように取り付ける。



- ・ キャビネットが2個に分かれている場合は、隣のキャビネットの前面・底面を合わせて皿ねじL28で固定し、ビスキャップをはめる。

警告



- 固定ねじの固定棧への入り込みが15mm以上であることを必ず確認する。

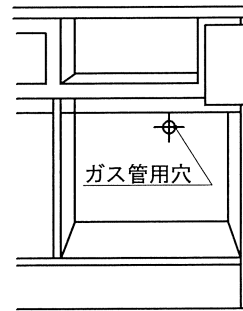
壁面への固定が不完全な場合、使用中に吊戸棚が落下して怪我をするおそれがあります。

- ・ 条件を満たさない場合は、ねじを現場で調達してください。

3 フロアーキャビネットの設置

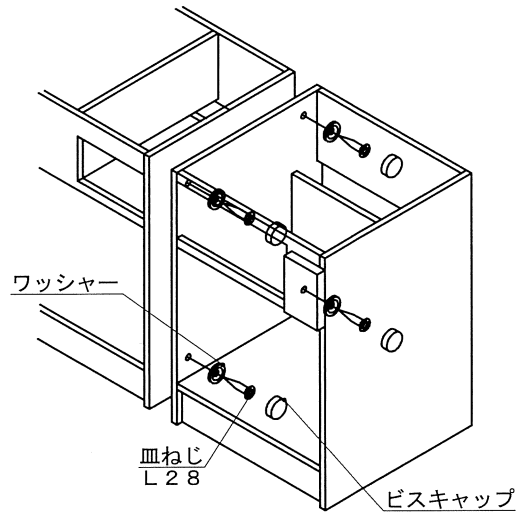
1) ガスドロップイン部のガス管用穴あけ

- ・ガス配管位置に現物合わせでφ25～30の穴をあけてください。



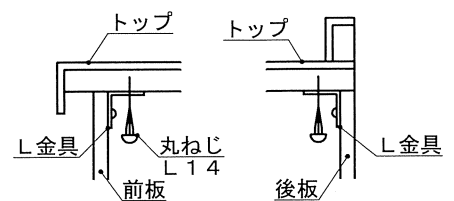
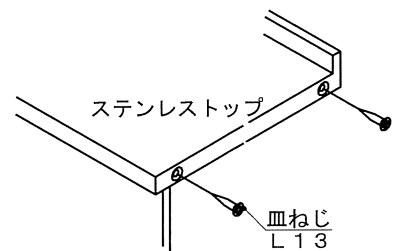
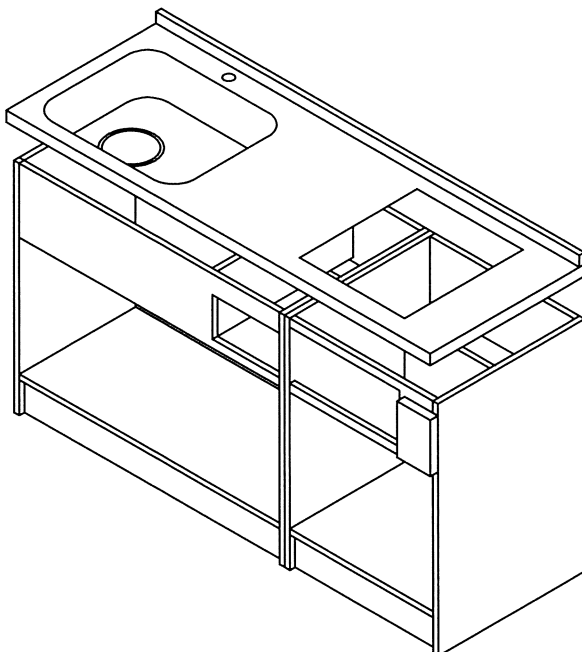
2) キャビネットの連結 (W=1650以上)

- ・二つのキャビネットの前面と上面を合わせて、皿ねじL28にワッシャーを通しキャビネットを連結固定し、ビスキャップをはめる。



3) ワークトップの固定 (W=1650以上)

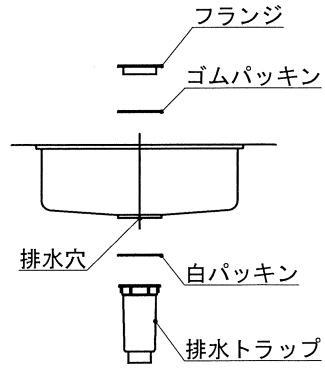
- ・フロアーキャビネットに載せる。
ステンレストップの場合は両サイドより皿ねじL13 4本で固定する。
人造大理石トップの場合はキャビネットのL金具で丸ねじL14で固定する。



人造大理石トップ

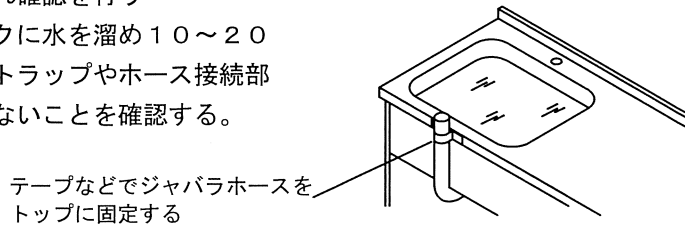
4) 排水トラップの取り付け (W=1650以上)

- ・右図のように、シンクの排水穴に排水トラップを取り付ける。
- ・締め付け工具等で排水トラップを水漏れがないように強固に締め付ける。
- * シンク・パッキン・トラップの接触部のゴミは取ってからセットしてください。
- * パッキンの変形がないことを確認する



排水トラップ取付図

- * 取り付け後、水漏れ確認を行う
工事完了後、シンクに水を溜め10～20分間放置し、排水トラップやホース接続部などから水漏れがないことを確認する。

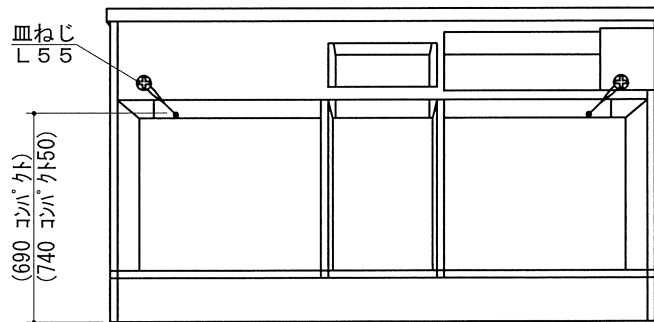


5) 水栓の固定

- ・水栓はワークトップに前後を確認して、がたがないように固定する。

6) フロアーキャビの固定

- ・製品の前面倒れ防止のため、後板に穴をあけて壁面に固定する。



7) 排水ホースの取り付け

・ジャバラホースの場合

ホース接続部に確実に差し込む。

・直管配管の場合

排水ホースからパッキンとホースナットを外す。

排水トラップに無理な力が加わらないように配管する。

直管接続後、シーリングプレートの穴周囲のミシン目より切り、穴を大きくする。

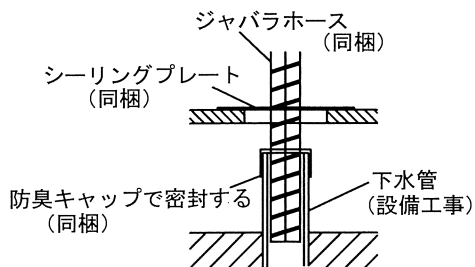
付属してあるホースユニットの部品	直管配管に使用する部品	直管配管図
	<p>・ジャバラホース③ 防臭キャップ④ は、不要です。</p>	<p>・直管 (VP40管) は、現地で調達して下さい。</p>

● 標準（ジャバラホース）仕様

- ・ジャバラホースに防臭キャップを差し込み、下水管に接続してください。

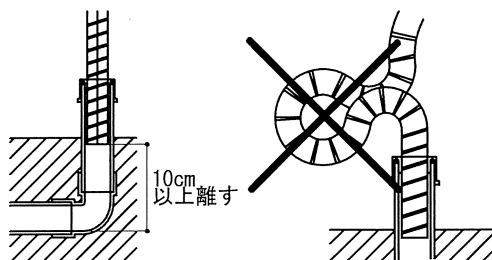


- ※ ジャバラホースは下水管に差し込んだあと防臭キャップで必ず密封してください。シールが不完全な場合、湯気が上がり、キャビネットや床などが腐るおそれがあります。



- ・ジャバラホースは下水管の底に当てたり、たるませて取付けないでください。

- ※ 排水能力が低下して、シンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ホースは適切な長さに切断してください。



7) 熱源の取り付け

- ・熱源の取り付けは各機器の工事説明書にしたがって工事してください。

警告



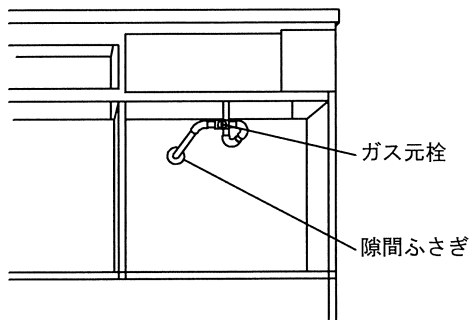
- ガス工事は関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行う。接続や固定が不完全な場合はガスもれの原因になることがあります。



- 電気工事は関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行う。接続や固定が不完全な場合は火災や事故の原因になることがあります。

8) ガス管の接続

- ・ガス配管は図のようにガス元栓を前面側の操作の容易な所に取り付ける。ガス管引き込み後、ガス管と穴の隙間をふさいでください。



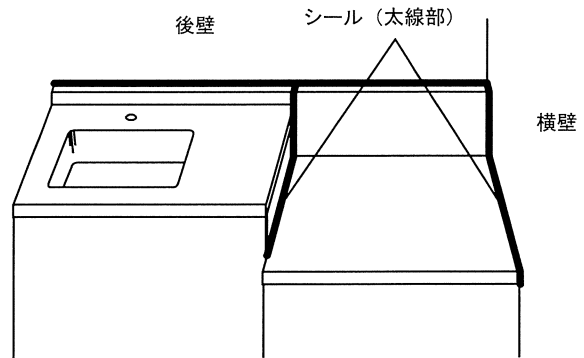
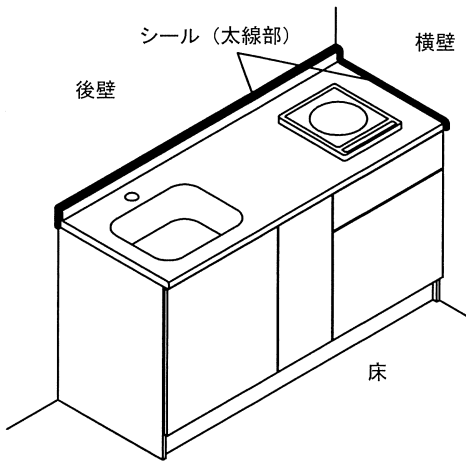
9) ワークトップのシール

- ・ワークトップに後壁・横壁があるときは必ずシール剤でシールする。
シール剤は現地で調達してください。

⚠ 注意



- ワークトップと、壁の合わせ部はシール剤で必ずシールする。
シールが不完全な場合、水がこぼれて壁や床、商品を傷めるおそれがあります。

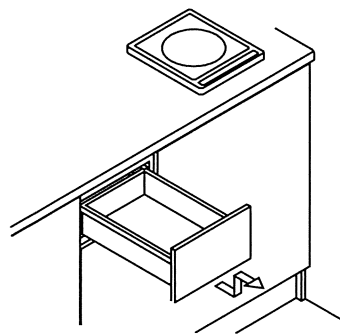


段落ちタイプのキッチン
キャビネットの継ぎ目もシールする。

4 引き出しの調整

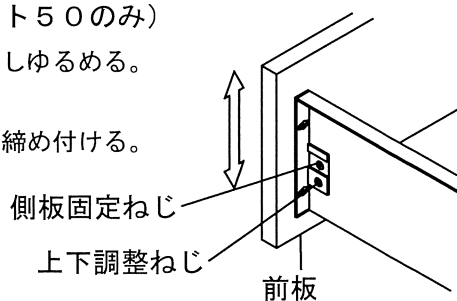
1) 引き出しの取り外し

引き出しを引き出して、止まったら
前部を持ち上げて外してください。



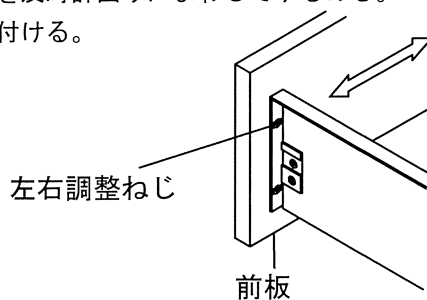
2) 引き出し (前板) の上下調整 (コンパクト50のみ)

- ・左右側板の側板固定ねじを反時計回りにまわしゆるめる。
- ・上下調整ねじをまわして上下に調整する。
- ・調整後、側板固定ねじを時計回りにまわして締め付ける。



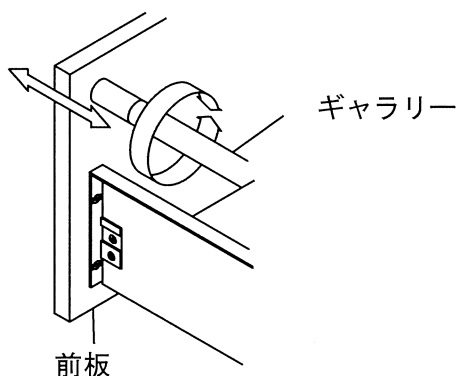
3) 引き出し（前板）の左右調整（コンパクト50のみ）

- ・左右側板の前板を取り付けているねじ（4本）を反時計回りにまわしてゆるめる。
左右に調整後、ねじを時計回りにまわして締め付ける。



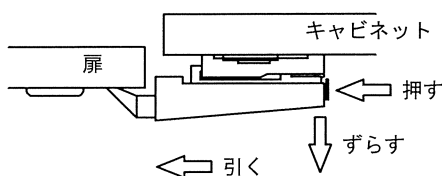
4) 引き出し（前板）の傾き（前後）調整（コンパクト50のみ）

- ・引き出しのギャラリーを回すと前板の上部が前後に動きます。

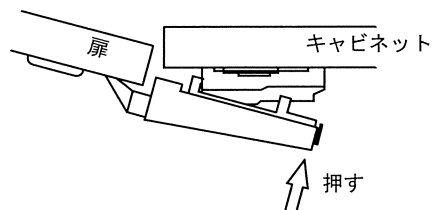
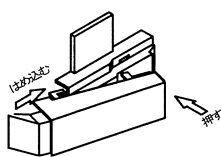


5) 扉の脱着方法

- ・扉の取り外し
ヒンジの奥のストッパーを押しながら後側を横にずらし、前に引く。

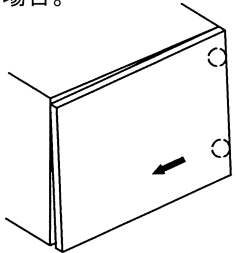
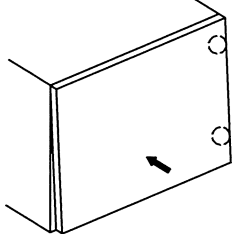
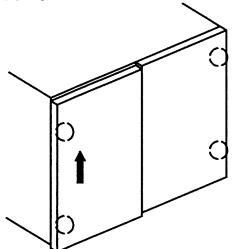
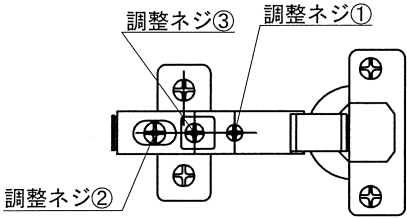



- ・扉の取り付け
ヒンジベースにヒンジ本体のつめをはめ込み、後側を押し込む。



6) 扉の調整

隙間が不均一な場合、下図のように丁番を調節して下さい。

<p>扉の傾き調整 例えば ① 図の様に扉が左下に傾いてしまった場合。</p>  <p>下側丁番の調整ネジ①を回して扉が矢印の方向に寄る様に調整してください。</p> <p>調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。</p>	<p>扉のうき（隙間調整） 例えば ② 図の様に扉と本体の隙間が上下で異なってしまった場合。</p>  <p>下側丁番の調整ネジ②をゆるめ下の丁番を奥にスライドさせて隙間を合わせてください。</p> <p>調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。</p>	<p>扉の段差調整 例えば ③ 図の様に左の扉が下がってしまった場合。</p>  <p>上下の丁番調整ネジ③をゆるめ丁番を上スライドさせて段差を合わせてください。</p> <p>調整後、必ず調整ネジ③を締付けて丁番を固定してください。</p>
		


注意

● **工事終了後は、扉の傾き・がたつきやヒンジのゆるみがないことを必ず確認する**

扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、怪我をするおそれがあります。

5 ワークトップの養生

ワークトップは傷やダコン・割れ等がつきやすいデリケートな物です。傷・ダコンなどを防止するために、キッチンの梱包材でワークトップを養生してください。

施工用工具

設置工事に際して、下記の工具をご用意ください。

電動ドライバー・モンキースパナー・脚立・メジャー・カッターナイフ・ドリル・プラスドライバー・マイナスドライバー・水平器

施工完了後

本表は、施工後に行う点検表です。本表に従ってチェックしてください。

フロアー：

部屋No.：

点検項目	チェック
1. 商品に傷や割れはないか？	
2. 扉間に段差や隙間の不揃いはないか？	
3. 配管部に水漏れはないか？	
4. 器具の取付けは行ったか？	
5. 吊戸棚の固定は良いか？	
6. コーキングが必要な箇所にシリコンでシーリングを行ったか？	

ホルムアルデヒド発散区分に関する表示

・商品名：コンパクトキッチン・コンパクト50

・製造元：株式会社亀井製作所

・内装仕上げ部分・下地部分とも：F☆☆☆☆

・表示ルール：住宅部品表示ガイドラインによる

・製造番号：キッチン本体に貼付の銘板によりご確認ください。

・構成材料：

内装仕上げ部分・下地部分とも

ホルムアルデヒド 発散材料	発散区分
PB	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

お問い合わせ先： TEL 0574-28-7500 (平日 9:00~17:30)